2024 年度　長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 2025-0-31-060					担当教員	深谷　慎介 （フカヤ　シンスケ）		
科目区分	ゼミナール科目	必修・選択区分	必修	単位数	2	配当年次	3 年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL／課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要
「各自の学びの深化」と「地域・学生双方の福祉の向上」を志向するゼミナールである。ゼミナール全体としては「『社会に開かれ共同性を重視した学習環境』としての『レジデンシャル・カレッジ（一種の学生寮、「安価で良質な生活の場」かつ「偶発的な学びを能動的に生み出す場」）』の建設」を具体的なテーマとするが、個々人の興味や適性を尊重する。各自、興味あるテーマについて探求することを通じて、「仮説の設定」、「討論の編成」、「評価方法の提案」という 3 つの技能の獲得を目標とする。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力／を涵養する授業である。
③ 授業の進め方・指示事項
各ゼミ生は単独で研究を進めてもらっても構わないが、複数名で連帯し研究することも妨げない。必要に応じ、ゼミナール全体で、文献の輪読、インタビュー調査、データ分析手法の講習などを実施する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ テキスト（教科書）
テキスト指定なし。必要がある場合、ゼミナールの学生の意見を聞いて指定する。 必要に応じて資料を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書
⑦ 評価Ａに対応する具体的な学習到達目標の目安
（ｉ）自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定でき、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を、独力で、設定することができる。 （ⅱ）討論に参加する意欲は高く、討論内容の理解にも優れ、討論の場を編成（オーガナイズ）しようと努めており、発言も的確である。 （ⅲ）仮説の妥当性を示すために必要な条件を、根拠と共に提案することができる。

⑧　ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
（ｉ）仮説の設定	自身の興味だけでなく先行研究も勘案し、探求するテーマを設定でき、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を、独力で、設定することができる。	自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定でき、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を、独力で、設定することができる。	自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定でき、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を、教員の補助のもと、設定することができる。	自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定できるが、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を設定することができない。	自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定できず、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を設定することもできない。
（ⅱ）討論の編成	討論に参加する意欲は高く、討論内容から論点を整理し、討論の場を編成(オーガナイズ)でき、発言も的確で、討論全体を牽引することができる。	討論に参加する意欲は高く、討論内容の理解にも優れ、討論の場を編成（オーガナイズ）しようと努めており、発言も的確である。	討論に参加する意欲は高く、討論内容の理解にも努めているが、発言は要領を得ない。	討論に参加する意欲は高いが、討論内容の理解は不十分であり、発言も少ない。	討論に参加する意欲に乏しく、発言することもない。
（ⅲ）評価方法の提案	仮説の妥当性を示すために必要な条件を、根拠と共に提案することができ、具体的な評価方法として実装できる。	仮説の妥当性を示すために必要な条件を、根拠と共に提案することができる。	仮説の妥当性を示すために必要な条件を、無根拠ではあるが提案することができる。	仮説の妥当性を示すために必要な条件を考察する意欲は高いが、それらを提案することができない。	仮説の妥当性を示すために必要な条件を考察する意欲に乏しく、それらを提案することができない。

⑨　学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加･意欲	その他	合計
総合評価割合				30%	40%	30%		100%
（ｉ）仮説の設定				10%	10%	10%		30%
（ⅱ）討論の編成				10%	20%	10%		40%

（iii）評価方法の提案				10%	10%	10%		30%
フィードバックの方法	毎回の授業で、討論や諸活動の成果等について講評する。							

⑩　担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
皆さんの自主性を重んじ、サポートする形で授業を進めたいと考えています。 共に学びを楽しみましょう！

⑪　授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する	10 分
2	取り組むテーマの検討	各自担当回にゼミナールで取り組むテーマを考えてくる	60 分
3	取り組むテーマの検討	各自担当回にゼミナールで取り組むテーマを考えてくる	60 分
4	取り組むテーマの検討	各自担当回にゼミナールで取り組むテーマを考えてくる	60 分
5	取り組むテーマの絞り込み	各自担当回にゼミナールで取り組むテーマを考えてくる	60 分
6	取り組むテーマの決定	ゼミナールで取り組むテーマをどれに絞るかを考えてくる	60 分
7	取り組むテーマについての企画を検討する	決定したゼミナールのテーマに関して企画を考えてくる	60 分
8	取り組むテーマについての企画を検討する	決定したゼミナールのテーマに関して企画を考えてくる	60 分
9	取り組むテーマについての企画を検討する	決定したゼミナールのテーマに関して企画を考えてくる	60 分
10	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
11	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
12	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
13	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分

14	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
15	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
16	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
17	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
18	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
19	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
20	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
21	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
22	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
23	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
24	成果発表会の準備	発表資料の作成	60 分
25	成果発表会の準備	発表資料の完成	60 分
26	成果発表会の準備	発表練習の実施	60 分
27	成果発表会のふりかえり	発表の振り返りと報告書の作成	60 分
28	成果報告書原稿作成	報告書の作成	60 分
29	成果報告書原稿作成	報告書の作成	60 分
30	成果報告書原稿作成	報告書の完成	60 分

⑫　アクティブラーニングについて
ゼミナールで決めたテーマについてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行い、考察を深める。必要に応じてフィールドワークも実施する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬　実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性